

働学の絆

同窓会事務局 三条市月園1-2-1
発行責任者 曾根忠一郎
編集委員長 野水 秀勝
TEL : 0256-33-0208
FAX : 0256-33-0134

「令和」元年の同窓会



三条高等学校同窓会定時制部会
部長 曾根 忠一郎

五月一日、新天皇が即位され、元号も「平成」から「令和」に。思えば、三条高校定時制は昭和二十六年四月一日に、募集人員八十人で普通課程が設置されてから、間もなく七十年。平成二十三年三月に惜しまれながらの閉課程から、一区切り十年を迎えます。

「昭和」「平成」「令和」と移り変わる時代の中で、三条高校定時制の卒業生一、二八五名は、いま現在も全国各地・各方面でいきいきと活躍されていることでしょう。さて、今年も例年通り、第十九回となる同窓会を三条市内で開催させていただきました。新時代を迎えた記念すべき同窓会となり、想い一人に、より感動的なものとなりました。新時代「令和」には、経済も、暮らしの面でも、ますますの変革の時を迎えることになるでしょう。我々、三条高等学校同窓会定時制の同窓生も「働学の絆」を大切に、とも

に輝かしい日々を担ってまいりましょう。ちなみに、令和二年の第三十回同窓会は、六月十三日を予定しております。目前に迫る東京五輪についても皆様と語り合えることを楽しみにしております。



会長就任ご挨拶



三条高等学校同窓会
新会長 野水 重明

三条高校同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。新元号「令和」の幕開けとともに、歴史と伝統ある我が三条高校の同窓会新会長に就任させて頂き、大変光栄で身の引き締まる思いです。新元号「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められています。先輩と若者達の中間世代として、全国・世界でご活躍される皆様をお繋ぎして、同窓会をさらに盛り上げることに、私のような若輩者が会長に就任する使命であると考えます。卒業生の皆様との交流を通じてより母校を誇りに感じて頂き、母校の発展に寄与すると共に、地域文化の向上に貢献したいと思っております。若輩者ではございますが、皆様からのご支援のもと精一杯取り組んで参ります。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

会長退任ご挨拶



三条高等学校同窓会
前会長 山井 太

三条高校同窓会定時制部会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、四年間務めさせて頂いた同窓会会長の職を退任させて頂くこととなりました。同窓会長としての日々を顧みると、人と人との繋がりの大切さを改めて実感し、日頃関わりを持っていただいている皆様に向けて感謝の念を抱かずにはいられません。こうして繋がり続けた皆様とのご縁をこれからも大切にしながら、少くも母校の発展そして三条市の発展に寄与できればと考えております。末筆となりますが、同窓会員の皆さまのご健康と益々の皆様をお繋ぎして、同窓会をさらに盛り上げることに、私のような若輩者が会長に就任する使命であると考えます。卒業生の皆様との交流を通じてより母校を誇りに感じて頂き、母校の発展に寄与すると共に、地域文化の向上に貢献したいと思っております。若輩者ではございますが、皆様からのご支援のもと精一杯取り組んで参ります。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

感謝と飛躍



三条高等学校
校長 中田 亮一

定時制部会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、「三高泉民の森」環境整備に對し多くの寄付をいただきました。日頃より母校の発展にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。四月、新たに二四二名の入学生を迎え、新年度がスタートしました。生徒はこれまで連綿と受け継がれてきた自主自律の精神のもと、文武両道に精力的に励んでいます。以前から高い進学実績を誇っている本校ですが、今春も京都大や一橋大などをはじめ、半数近くが国立大に進学するなど、多くの生徒が進路希望を実現しました。部活動においても、限られた時間ながら工夫を凝らして集中した練習を行い、陸上や弓道、百人一首が全国大会出場を果たし、剣道をはじめ多くの部が北信越大会に進み、書道では県知事賞や新潟大学長賞を受賞しました。この一年、授業や折々の学校行事、部活動に打ち込む生徒の姿を見てくださいました。明るく素直で、何事にも全力で取り組む姿勢は、本当に素晴らしいと感じました。高校時代は夢を育み、その実現に向けた土台を築く大切な時期です。この素晴らしい生徒たちが本校での学びや体験を通して、将来の社会を担う気概ある若者に成長していくことを切に願っています。そして、我々教職員一同、そのために力を惜しまず全力で取り組む所存ですので、同窓の皆様には今後とも一層の激励とご支援を賜りますようお願いいたします。結びに、昨年は定時制部会総会でお世話になりました。高校時代の思い出を楽しく聞かせていただき、合唱タイムでは楽しく歌わせていただきました。お土産をいただいたお米のおいしさに感動いたしました。そして何より、皆さんの母校に對する思いをひしひしと感じ、たくさんのパワーをいただきました。本当にありがとうございました。



三高同窓会 定時制部会 第19回懇親会アルバム

(楽しい同窓会懇親会記念写真として保管をお願いします。)

2019.6.8 会場…饒心亭 おい乃



永年功労賞プレゼント
(清酒五十嵐川)



遠方出席者プレゼント
(清酒五十嵐川)



懇親会恒例 生伴奏つきで大合唱
(アコーディオン…長沼 ギター…石綿)

総会・懇親会

第1部	総会 (15:30~16:15)
司会	事務局長 野水秀勝
部会長挨拶	部会長 曾根忠一郎
来賓挨拶	同窓会会長 野水重明様
来賓挨拶	学校長 中田亮一様
議事報告	第1・2号議案 会計監査 長沼宣男 第3・4号議案
議事は原案通り承認可決されました。 記念写真ステージで全員	
第2部	懇親会 (16:30~19:00)
司会	副部会長 武士俣昭司
乾杯音頭	来賓紹介・恩師紹介
会食 歓談タイム	副部会長 坂井正和
プレゼントタイム	プレゼンター 栗山 茂・野沢ミチエ
感謝プレゼント	壇上で各テーブル代表者へ (下田橋山産コシヒカリ1kgを全員にプレゼント)
・永年功労賞	同窓会に貢献者 長谷川・長沼・坂井・石綿・長瀬さん 5名
・遠方出席プレゼント	鈴木・外山・右田・田巻・永堀さん 5名
懐かしの合唱タイム	各テーブルごと合唱 アコーディオン 長沼宣男 ギター 石綿富一
校歌斉唱指揮	首藤隆司様
閉会挨拶・御礼	相談役 長瀬嘉之助

日の道

ランナーに
日の道ゆずる初雀

菜種梅雨
糸通し器の見つからぬ

鬼やんま
翅ふるはせて生まれけり

小鳥が来るぞ
はちきれさうな青虫よ

平成の陽をぎつしりと
実千両



司
雪絵

～懐かしい顔いつもの顔 最高に楽しい懇親会でした～



いつまでもお若い
1回2回卒の4名



野水新会長を迎えて
にこやかに



三二同級会の
元気な3回卒



ミスター恩師
首藤先生を囲み



曾根部会長と笑顔の
素晴らしい9回卒 5人衆



とても素敵な
9回卒同級会
話も弾む 6人娘



井之川先生を
囲んで感謝・感激



友遠方より来たる
田巻・永堀さん
感謝・感動



三条高校 定時制 第7回卒 喜寿祝クラス会 平成30年10月16日

喜寿祝い・最後のクラス会を終えて
昭和三十六年 第七回卒 長沼宣男

卒業時二クラスで八十一名の仲間も、夫々の人生を歩み喜寿を迎えた。恩師首藤先生は元気できまざまな方面で活躍を続けておられるが、一方生徒の方は、亡くなった者は二桁、所在不明者も数名出席したい気持ちはあるが体調不良での欠席者もかなりとなった。折々の節目に開催してきたクラス会は、十月十六日、十七日の十一回目を修学旅行気分もと、温泉「萬国屋」で二十四名の参加で締めくくった。バスの中で歌い、尽きぬ話を打ち切り、加茂水族館のクラゲも観て。遠路からも、自家用での参加にも感謝。現役組もそうでない組も、ボケない小唄を目指して、まだまだ人生捨てたものではないと！



同窓会の広場

会員様よりの寄稿を掲載いたしました。

人生の応援歌 三高校歌

昭和三十年 第二回卒

齋藤 善一

今年八十七才になりますが、「定時制で学んだ」その事によって今ここで生きている自分がある、その事がすべてであるといつていいでしょう。

卒業された同窓の皆様、執行部の提言ののって見ませんか。スムーズ・呼びかけに応じて集って頂ければ二次会・三次会もかたたん。一年に一度の顔合わせ、近況の語らい、将来の希望、老いの備え定時制で学んだ絆と友情、「友あり遠方より来る。亦たのしからずや」の境地ではないでしょうか。

そして人生の応援歌「校歌」を高らかに熱唱して自分自身を高めて頂きたい。

ああ、部会があつてよかつたなあ！

会長さんはじめ執行部の皆様のお苦労に対し深甚の意を表するものでございます。



ブログやFacebookなど SNSの魅力

昭和三十三年 第三回卒

羽入 敏夫

どうも八十歳を超えたころから、体のあちこちにガタがきたように思います。数年前から脊柱管狭窄症と言つことで、いわゆるロコモ状態です。以前、本誌に寄稿された「第十四回卒 吉川吉彦さん」の記事に、どれほど勇気づけられたことでしょうか。ひよっこり、ひよっこりウオーキングしています。

いつの間にか、私の趣味になったもの。それは写真撮影とブログです。私の住まい「新潟市秋葉区柄目木(がらめき)」と「良寛さまへの敬慕の念」から「柄目木庵」と名付けたブログを開設して、十五年目になりました。載せた写真の枚数が現在「三、六〇〇枚を超えています。写真と文章で発信することの楽しさ、多くの方が閲覧くださっているという喜びを感じています。

さらに二年前「タブレット」をスマホ代わりに購入したところ、人に勧められて「Facebook」に参加しました。これがまた、たまりません。ブログの記事もシェアできますし、日本列島の北から南までの「お友だち」や「グループ」と交流しながら過ごしています。思いがけない「出会い」もたまりません。

私は三条高校定時制卒の「同窓の方」とFacebookを通じて「お友だち」となっていたら、いいなあと思つています。スマホをお持ちの方、ぜひ挑戦され「お友だち」になつていただきたいと思います。

三条高校に感謝

昭和三十四年

第五回卒



平松 正

私は第五期の卒業生です。一年生の時は書道部と美術部と柔道部に入っていました。背負い投げを食らって受け身をする、木造校舎の柔道場が揺れていたのが忘れられません。三年生になったとき、数学部と弁論部に入りました。数学部長になったとき、卒業後の生活を考へて、数学部を廃止して珠算簿記部に変更して、しばらくして軌道に乗った頃、三条商業の珠算簿記部を招待、勉強したのが懐かしい思い出です。四年生の夏休み作文を提出したら、三条高校代表に選ばれて、校長室で練習をさせて頂き、長岡の女学校・大手高校での「私の主張大会」に出させて頂きました。鏡のいっぱい有る学校で驚きました。お陰様で自宅は鏡がいっぱい有ります。外出する時は胸のポケットには鏡と櫛が入れて有ります。長岡の女学校へ行って頂いて頂いたお陰です。三条高校の脇を通るときは感謝しながら通ります。



市民農園での経験

昭和四十八年 第十二回卒

田巻 直人

私は市民農園で大玉スイカづくりに挑戦しました。「スイカの育て方」を良く読み、それに従つて育てると決めました。三月下旬、五株を植える大きな畝づくりは根が深く張れるよう深く耕し肥料は油粕等を施し水捌けを考へてつくりました。

四月十二日、五株のスイカ苗を買い定植し保温のため、ホットキャップで覆い帰宅。その後苗は順調に育ち各株とも、いわゆる三本仕立てにし、他の蔓は全部カットしました。

五月十五日から雌花が咲き、時々受粉のため畑に通い、六月中旬に十二個の着果を確認できました。大きく育つていくスイカ玉を見ると嬉しく、水補給・雑草取り等を適宜行い収穫を楽しみに市民農園通いをしました。七月十二日、大玉スイカを初収穫後、順次収穫し、知人・近所の人に差し上げ、共に食べ、とても甘いと喜んで頂き、スイカづくりの楽しさを改めて知りました。



世界一おいしい。
自分だけの究極の一杯、に出会う。

一緒に、つくる。お客様と。

<http://www.twinbird.jp>

ツインバード工業株式会社
新潟本社：〒959-0292 新潟県燕市吉田西木田 2084-2
TEL:0256-92-6111

人生に、野遊びを。

* snow peak

www.snowpeak.co.jp

次号からも皆様の寄稿をお待ちしております。スマホ・タブレットでもご覧頂けます。



生きる事

昭和四十八年 第十九回卒

増田 能知

この世で一番難しいのは「正しく生きる事」。自分自身が自分の事を、一番良く知っている。それ故に、自分の事も他人に対しても、やるべき事を良く知っている筈なのだが、他人に厳しく自分に甘い自己中心の考えでは、当然反省もしないだろうし、気付いても人間は完璧ではないなどと、うそぶくであろう。このままでは酔生夢花になってしまふ。これからの人生を考え直さなければ、と思つてい(だけ)

武者小路実篤が書いた文章に己を知らないものは不幸だ 自分の罪を他人に帰せて 己を知るものは幸福だ 罪がそれにある事を知る まだまだ人生行路の途中、先は長い?

老木の追憶散るらん

昭和三十三年 第三回卒

渡邊 藤之進

この度、初めて「働学の絆」を拜見して自分の青春時代が一瞬甦つた。

同窓会では誰か分からず。又当時の特徴に見覚えの顔、姿に思わず手を取つて分り合える人。あの頃、勉学に励んでいた時の若人が現実目の前に、隣にいることに戸惑つた。

入学前の自分に、小規模の家内工業の父親は「職人は学問より技術を身に付け仕事を覚えるのが優先だ。教育は無用」と口癖のように云つていた。昔風で堅気一点張りな父である。向学心に理解を示した兄達は将来的に高校教育の必要性を唱え「せめて定時制に」とあの父親を説得し進学を推してくれた。

入学して、時を重ねると部活動に熱が入つたり。定時制で演劇部ができ趣味本位で早速入部、連日の台本の読み合わせやら演技の稽古に明け暮れた。指導役の先輩は中央で演劇俳優研究所所属の団員で活躍、我々から見れば玄人肌のプロである。苦しみと楽しさが交錯しながら創設数年で定時制開始の中央公民館、現在の三条市歴史民族産業資料館、武徳殿で公開発表会をしたのである。夜学生でもできる自信を持ち証明した貴重な体験であつた。

小学生の頃から絵心があり、好きな事もあつて美術部入部、油絵を始め。美術部の顧問だったランプ絵画で定評のある斎藤伸先生は「物を見て描くだけでなく自分

の想いを自由に表現し個性を見いだすこと」を伝授され、抽象を主体とした画風を夢中に描き続けた覚えがある。現在は専ら写実画に興じているが絵筆を持つことは少なく、定年後はその手に鉄を持ち替え畑の野菜作りの魅力にとり憑かれ二十数年経つた。

学生の四年間昼の労働に疲れ果てた心身を癒してくれたのが、家では味わえないクラブ活動だつた。放課後が待ち遠しくて創作に夢中になつて時間の経つのを忘れる位、絵筆を白いキャンパスに自分の気持ちを打ち付け向かう時が充実したひと時だつた。

同じ部で稀な可愛いマドンナ、後輩の女子生徒が居た。帰路が同じ方向だつたので夜も更け先輩として彼女を送る義務がある。彼女も望んでいたかも、勝手な想像だ。私の自転車の後ろに乗せ威勢よく走り出す。徐々に彼女の両手が私の腰回りに回る。一層ペダルを踏む力が入る。静夜の幻想的な月明かり、自分の背に彼女の顔と柔らかい胸が次第に凭れ掛かつてきた。その温もりとやさしい鼓動が伝わつて、全身に熱いものを感じた。この時のめくるめく情景はまさに青春そのもの。只の純情な男の子だつた。家路に向かうのを惜しく思った。

急速な時代の変化で過去の記憶が消えつつある。今はスマホで人々が翻弄され時代錯誤に陥り、追い着けない自分が居るのだと痛感している。

定時制のクラスメイトで卒業以来、長年登山の相棒だつた彼が、昨年永遠に旅立ってしまった。寂しい限りである。

母校「三条高校県民の森」に であけてみませんか

定時制部会 役員一同

最近、三条高校部活動は大活躍しています。

陸上競技、弓道や百人一首での全国大会出場、野球や剣道では北信越大会に出場しています。書道に於ては県知事賞や新潟大学長賞など。このような後輩たちの頑張りに大きな声援を届けたいものです。先日北信越野球大会一回戦では惜しくも富山第一に五対一で敗退しましたが、三十八年ぶりに新潟県代表となりました。今後の活躍を期待し声援を送りたいと思います。

六月六日に中田校長へ定時制部会恒例の県民の森寄付金を届けさせていただきました。三条高校前通りの周辺は、スーパーや家電量販店など多くの販売店舗が進出し、交通量が激増しています。そんな中で「三条高校県民の森」の木々も大きく成長し「癒しの森」として存在感を増しています。皆様、ご都合の良いときに「三条高校県民の森」に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

若いときを思い出して心身ともにリフレッシュできるかもしれません。



庖丁工房 オンラインショップ はじめました。 http://www.tadafusa.net 庖丁工房タダフサ ファクトリーショップ 三条市東本成寺27-16 電話 0256-32-2184 営業時間：9:00~18:00 (定休：日曜/祝祭日)

在宅介護の アレック 北栄 ALEC 北栄 高齢者と介護者の暮らしをお手伝い Assistance for the Life of the Elderly and their Care-givers 株式会社 北 栄 昭和36年 第7回卒 村上 聖一 本社/長岡市雨池町44-5 TEL(0258)28-0629 FAX(0258)28-0640 新潟/新潟市中央区愛宕2-10-2 新潟/新潟市秋葉区金沢町3-1-9 新潟東/新潟市東区船江町2-5-15

「働学の絆」は皆様の寄付金で支えられています。

三高同窓会ホームページ http://www.sanjo-dosokai.gr.jp 定時制部会の「働学の絆」が掲載されています。



平成三十一年一月十八日週刊新潮に百害あつても一利無しと言われたタバコのニコチンが認知症治療に良く大学で薬の研究をしているとの一文をよんだ。私は七十七の末期高齢者であるが葉一つ飲むで無し、(酒は若干毎日呑む)自覚症状も無く、快眠快食快便血圧も正常だが認知症になるのではと変な自信がある。予防に食品のターメリックを飲んではいいるがタバコのニコチンもあつたのかと、タバコは二十年程前に止めていたが味は判る、この歳ならどうなろうと大差無いと決め妻には内緒で一日一〜二本、灰皿用に空缶を持参し散歩に出かけ木陰で服頭がスーとします。口が臭うので漱いで家に帰り素知らぬ顔、ウハウハです。ね認知症予防と楽しみのためタバコを始めました。「働学の絆」第五号は妻に見せず直ぐファイルです。



秘密

昭和三十六年

第七回卒

村上聖一



庭を整える

昭和三十八年 第九回卒

曾根忠一郎

私が会長を務める工場には、新潟県内外、ときに海外からの来客がある。創業時には想像もつかなかったことだ。車を停め、庭を通って入口に向かう様子を、草取りをしながら眺めている。たまに来る知り合いには「シルバー人材さん、精が出ますね」とからかわれたり、買い物を終え車に向かうお客様には「ありがとございました。いい製品ですから、長く使ってくださいね」とお礼をしたり。小さな交流に楽しみを見つけている。春の桜の頃から、雪が降り始める直前まで。この庭が、私の居場所であり、生きがいになる。お客様にささやかでも癒しの瞬間を楽しんでいたければと思います、太陽の日差しを受け、いまできることを頑張っている。



第七回卒 佐藤朝子

同窓会定時制部会の皆様には益々ご健勝にてご活躍。深く感謝申し上げます。
私は二〇一九年一月喜寿を迎えました。

第三回卒 外山忠弘

同窓会のご案内を頂き誠に有難うございます。

永い事お世話になっておりましたが、昨年から体調を壊してしまい、出席出来なくなつてしまいい誠に申し訳なく思っております。

尚、機関誌「働学の絆」は楽しみに致しておりますので出来ればお送り願いたいものです。定時制部会の益々の発展を祈念致します。

第三回卒の方々にも宜しくお伝え下さい。

第六回卒 加藤菊江

いつもお世話になっております。お元気ですか。

楽しみにしていたのですが、どうしても抜けられない事が出来まして出席が出来なくなりました。誠に申し訳ありません。

この会が益々盛会になることを祈っております。そして新しい令和の時代に於いても働学の絆を深めて行けたらいいな、と思っております。

第七回卒 金子芳三郎

ご案内ありがとうございます。七十八歳をもって、障害者福祉の仕事も辞めました。お世話になりました。ご参加の皆様のご健勝を祈ります。



寄付金サポーター

平成30年度も多くの方にご支援いただきました。会報発行費として大切に活用させていただきます。本年もよろしくお願い致します



昭和30年 第1回卒 道見 静江	昭和36年 第7回卒 野水 重勝	昭和38年 第9回卒 諸橋 幸枝	昭和45年 第16回卒 坂井 功治
昭和30年 第1回卒 鈴木四子二	昭和36年 第7回卒 村上 聖一	昭和38年 第9回卒 増井 清	昭和46年 第17回卒 宮島 幸子
昭和30年 第1回卒 齋藤 善一	昭和36年 第7回卒 加野 康子	昭和38年 第9回卒 曾根忠一郎	昭和46年 第17回卒 松橋 京子
昭和32年 第3回卒 栗山 茂	昭和36年 第7回卒 宗村 亮子	昭和38年 第9回卒 出羽 勝	昭和47年 第18回卒 桑原 健三
昭和32年 第3回卒 外山 忠弘	昭和36年 第7回卒 中島 タツ	昭和38年 第9回卒 国府田良雄	昭和47年 第18回卒 石綿 富一
昭和32年 第3回卒 村井吉太郎	昭和36年 第7回卒 難波多美子	昭和39年 第10回卒 横山 秀雄	昭和49年 第20回卒 鈴木チイ子
昭和32年 第3回卒 羽生 敏夫	昭和36年 第7回卒 今井 徹郎	昭和39年 第10回卒 野水 秀勝	昭和49年 第20回卒 関本 紀子
昭和33年 第4回卒 石村 容子	昭和36年 第7回卒 若林美枝子	昭和39年 第10回卒 木津 武義	昭和50年 第21回卒 飯塚 重美
昭和33年 第4回卒 小林 由夫	昭和36年 第7回卒 新倉千鶴子	昭和39年 第10回卒 野崎美恵子	昭和54年 第25回卒 大竹 明美
昭和33年 第4回卒 石月 了太	昭和36年 第7回卒 長沼 宣男	昭和39年 第10回卒 金井 一男	平成8年 第42回卒 星野 宏
昭和34年 第5回卒 笹川 正司	昭和36年 第7回卒 渡辺 チヨ	昭和39年 第10回卒 後藤 勝	平成14年 第48回卒 宮本 康祐
昭和34年 第5回卒 植木 憲一	昭和36年 第7回卒 西方 静子	昭和40年 第11回卒 大谷 イヨ	平成17年 第51回卒 長瀬嘉之助
昭和35年 第6回卒 加藤 菊江	昭和36年 第7回卒 新屋 喜江	昭和41年 第12回卒 田巻 直人	平成18年 第52回卒 藤井 裕史
昭和35年 第6回卒 熊谷 虎雄	昭和36年 第7回卒 佐藤 朝子	昭和42年 第13回卒 野沢ミチエ	平成19年 第53回卒 藤井 陽子
昭和35年 第6回卒 並木 翼	昭和38年 第9回卒 帆 莉 正孝	昭和43年 第14回卒 上杉 正一	恩師 清水美智子
昭和35年 第6回卒 駒形 和雄	昭和38年 第9回卒 関根 智歌	昭和44年 第15回卒 野水 一之	
昭和35年 第6回卒 宮原十九三	昭和38年 第9回卒 山田 洋子	昭和45年 第16回卒 横山 文江	

皆様の御協力
ありがとうございました。



恩師だより

さらさらした思い出



恩師 清水美智子

三高定時制の給食の旨さは県内でも評判だった。お腹を空かせて駆けつけると、温かいご飯が待っている。一口でも多く食べたい。手際よくよそづてくれる女子生徒に、「もつと一杯盛ってくれや。」と男子。「今はこれだけ、残ったら又あげるから。」とその場を仕切っていたSさん。卒業後彼女が子供を二人連れてくるのに、ぱったり出会った。走り回る子供たちを叱りながら、私と話す彼女は立派なお母さん。「やーだ。私よく先生に叱られたのに、自分が叱っているなんて...」と爽やかに笑う。五年毎に開くクラス会の出席率がよいのはK君のお陰。高校時代の友情・経験が皆のバックボーン。母親の年齢の私を、放課後は愛称で呼び、給食の時は、「先生も家族がいるのに、夕飯が別で大変だね。」と気遣う優しさ。在任の三年間、二・三・四年生の担任で戸惑うことも多々あったが、ぼつと心に灯の点る貴重な時間だった。

懐かしいお顔を見せてください



恩師 首藤隆司

また懐かしい顔に会える日が近づきましたね。若い日に、一緒につらい思いや、苦しい体験、楽しい思い出を持った仲間、久しぶりに会って、楽しいおしゃべりをしましょう。同級生に声をかけて、一緒に集まりましょう。楽しみにしています。

高齢者スキー



恩師 田村忠夫

珍しく雪の無い年でしたが、志賀・野沢・尾瀬の片品・岩鞍で滑って来ました。

指導員を含む顔なじみで、全員がいわゆる高齢者です。(最高齢八十一歳女性・二番が自分)。ゲレンデで先生が模範滑走、二百メートル先でストックを振る。背後に十数名が見つめる。膝痛が出ない事を祈りつつスタート。やや、前傾姿勢を保ち、回転の切り替えを早く、外足加重を意識して滑った。先生曰く、「長年やっただけあって、良い滑りでしたよ」と。

ただの遊びの中の言葉であったが、誉められて嬉しかった。自分もかつての生徒一人ひとりの良いところを引き出し、もつと誉めてやるべきであった...この年になって痛感せり。

小規模の学校



恩師 坂井康男

新年度、新潟工業高校から分水高校へ移動となりました。新任校ではいきなり三年生のクラス担任となります。分水高校は各学年二クラスで全体では六クラスです。定時制では全体で四クラスだったので、定時制の一、五倍規模の学校です。先生の数が多くなりそうです。

定時制で働いてから既に二十年が経過しています。私の体力、記憶力はかなり落ちましたから少々心配な面もあります。クラスの生徒数は三十名ほどと聞いています。早くクラスの生徒の顔と名前を覚え、一体感をもつて学級運営にあたりたいです。そして少しでも生徒の精神的な成長を見ることができれば、これに勝る喜びはありません。定時制を思い出し、楽しみながら全力で頑張ります。



美ら海に思う

恩師 木村眞悟

沖繩辺野古新基地について圧倒的多数の反対の民意が県民投票によって示された。安倍首相は「投票結果を真摯に受け止める」と述べたものの、辺野古への土砂投入は継続されている。沖繩の海を茶色に染めはじめた昨年末からの土砂投入、止まるのだからか。

そんな思いでニュースを見ていると『働学の絆』への寄稿が求められた。

思い出すのは定時制の生徒達と訪れた沖繩修学旅行だ。二〇〇四年と二〇〇五年の二回。一度目は担任として引率した。首里城や国際通りの夜間自由行動では思いっきり観光し、糸満壕やひめゆりの塔、平和の礎など南部戦跡では学習も深めた。修学旅行らしい修学旅行だった。北部へ足を伸ばし、美ら海水族館やビーチを楽しんだ。青い海が印象的だった。

二日目の夜、ホテルのソファで何人かの女子生徒と雑談をした。二泊三日がもの足りなかつたのか「今度は自分たちで来る！」という声。沖繩戦の学習も深まったようで「こういう勉強大事だね」といった声が聞けた。いろんな事情で参加できなかった生徒もいたが、思い切った沖繩を選んで良かったと思つた瞬間だった。卒業生達がまた今度沖繩を訪

れたときも、平和も青い海も残っていてほしいと辺野古の知らせを聞く度に願っている。



恩師 中島郁雄

当方、六十四歳になりました。二年前、腰痛のため腰の手術をしました。以来、振動のくるランニングは禁止となり、ある人の進めで自転車(ロードバイク)を始め、天気の良い日にはツーリングに出かけています。五月十九日には佐渡一周のイベントにも参加する予定です。

恩師 福島正彦

二十代後半から七年間お世話になりました。三高定時制は私のその後の教員生活そして私の生き方に大きな力になっていきます。ご案内をいただき、若い日を思い出します。寺役・諸用の為、出席できず残念でまた申し訳なく思います。



「働学の絆」は皆様の寄付金で支えられています。

令和元年度 事業計画

- 1.三条高等学校本部事業への積極的な参加
- 2.同窓会定時制部会 総会・懇親会の開催
- 3.定時制部会報「働学の絆」発行

令和元年度 会計収支予算

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

収入の部

科目	前年決算額	予算額	備考
前期繰越金	403,628	403,628	
同窓会総会費	252,000	252,000	会員42名見込
同窓会補助金	100,000	100,000	本部より
雑収入	67,641	60,000	祝儀ほか
事業参加費	12,000	12,000	反省会費
賛助金	303,600	240,000	賛助金減少見込
広告協賛金	120,000	120,000	
合計	1,258,869	1,187,628	

支出の部

科目	前年決算額	予算額	備考
事務通信費	52,897	60,000	名簿郵送費
総会費	310,452	294,000	総会懇親会費
印刷代	179,632	180,000	会報・はがきほか
会報配送費	135,080	138,000	1500部
会議費	4,479	5,000	会場費 お茶代
事業費	14,420	15,000	反省会ほか
振込手数料	9,652	10,000	
寄附金	30,100	30,000	三高 県民の森
予備費	0	50,000	出席プレゼント500×50ほか
次期繰越金	403,628	405,628	次年度会報発行費
合計	1,140,340	1,187,628	

日本遺産登録おめでとう！
信濃川流域の火焰土器と
雪国の文化

昭和三十九年 第十回卒
野水秀勝

三条市を含む新潟市・長岡市・十日町市・津南町・魚沼市が日本遺産に登録されました。日本一の大河、信濃川流域は八千年前に気候が変わり、世界有数の雪国となりました。

この雪国に五千年前に生まれた「火焰型土器」は大仰な四つの突起のある日本を代表する縄文土器です。なお、十日町出土の火焰土器は有名な国宝

です。

二〇一八年七月には東京国立博物館で特別展「縄文・一万年の美の鼓動」が開催されました。日本各地よりの多くの見学者で縄文火焰土器の人氣も高く私も見学してまいりました。

三条高等学校の通学エリアでも多くの縄文遺跡がありまして、いくつかを紹介いたします。有名な遺跡は長野遺跡(旧下田村八木ヶ鼻)と吉野屋遺跡(旧三条市吉野屋)です。私も何度か遺跡見学会で現地を訪ねて五千年前の悠久を感じました。

ー長野遺跡(下田八木ヶ鼻)ー
五千年前の縄文中期の大遺跡です。五十嵐川・守門川・駒出川の合流点に位置し八木ヶ



国宝 火焰土器

鼻や粟ヶ岳・守門岳の絶景に抱かれた場所です。三条市の遺跡調査で三十軒以上の竪穴式住居と多数の土坑や柱穴跡が検出されました。五十嵐川合流点に縄文遺跡公園が整備されていますので八木ヶ鼻方面にお出かけの際は見学されて悠久五千年の縄文時代を体感するのも楽しいと思います。下田郷資料館には考古・遺物コーナーがあり無料で見学できますのでオススメです。

ー吉野屋遺跡ー
信濃川中下流域で五千年前の縄文中期の三条市の有名な大集落です。昭和四十四年の工場造成跡で発掘調査が行われ大量の遺物が発見されて大きな話題となりました。出土品として縄文土器・石器・石棒・土偶や土製品など県内の有名な縄文遺跡です。ほかにも、赤松遺跡・印内原遺跡・藤平遺跡・芋ノ原遺跡・荒沢遺跡など「三条高等学校同窓会誌 源泉」を読む度に信濃川中下流域の五十嵐川で育ち五十嵐川・守門川・駒出川の源泉に近い縄文長野遺跡とのつながりに想いを馳せています。

二〇二〇年の東京オリンピックの聖火台に「火焰型土器」のデザインが採用されることを信濃川中下流域の五十嵐川辺で育った三条市民として強く願っています。

六月六日、曾根部会長、野水事務局長、横山会計の三名で三条高校校長室を訪ね寄付金のお届けをさせていただきました。本年度も県民の森・ガーデン美化で三高の後輩を支援していきます。同窓生の皆様のご協力に深く感謝いたします。

中田中学校長より寄付金に感謝の言葉

定時制部会よりのお願い

同窓会との連絡には自分の卒回数・卒年度は必ずご確認して下さい。

日々の生活に追われ忘れかけている三条高校定時制部会の記録をリーフレットに編集しました。懐かしい歴代校長・恩師、そして働きながらひたむきに学んでいた同窓生の思い出など同窓会の年表として活用されるように願っております。

三条高校定時制61年の歴史

保存版

新編 三条高等学校同窓会定時制部会61年の歴史

発行所：三条高等学校同窓会定時制部会

発行年：令和元年

発行部数：1,000部

定価：1,000円

お問い合わせ先：三条高等学校同窓会定時制部会事務局

〒952-8585 新潟県三条市南町1-1-1

TEL: 025-342-1111

FAX: 025-342-1112

E-MAIL: hokokai@sanjo.ac.jp



八木ヶ鼻遺跡

第20回総会御案内

皆様の参加を心よりお待ちしております。

次回のご案内

日時/2020年 6月13日(土) 第2土曜日

会場/銭心亭 お♪乃

時間/受付 15時00分
総会・懇親会 15時45分

会費/6,000円の予定

皆様の友人をお誘い合わせてご出席のご協力をお願い申し上げます。

自由な封書も大歓迎

日頃考えていることや思いいついた出来事など多くの方より多彩な話題を掲載できるように期待しています。封書でもおはがきでも気楽な楽しいメッセージを事務局一同心よりお待ちしております。

ショートメッセージを大歓迎

働学の絆に同封されている「返信はがき」で寄稿をお願いいたします。

働学の絆 寄稿のお願い

令和の時代を迎え第五号の発行を無事に終了できました。同窓会員と恩師の方に支えられて趣味や健康や人生の楽しみ方などたくさんのお話を掲載してまいりました。引き続き第六号への寄稿をお待ちしています。

第五号には第七回卒の喜寿祝いの楽しいクラス会を掲載しました。恩師首藤先生とあつみ温泉萬国屋で二十四名の修学旅行気分盛り上がったとのこと。ポケない小唄を目指して人生を楽しみたいものです。次号にもクラス会等の楽しい寄稿をお待ちしています。